

すえつぐ精一
後援会会報

まっすぐ通信

第6号
令和6年4月1日発行

ごあいさつ

前衆議院議員 末次精一

政治と金の問題の根底にあるもの

岸田政権が「新しい資本主義」を掲げて発足し2年半が経過しようとしています。支持率は高い時で60%を超えていましたが、今では不支持率が60%

を超えています。衆議院の任期まであと1年半を残し、自民党内では「岸田総理では勝てない」と交代論がささやかれていると聞きます。

しかし、今起こっている「政治と金の問題」は、政権与党のトップを変えたからと言って問題解決するとは到底

思えません。なぜならば、パーティ券キックバックの問題は、安部派や自民党の一部の議員だけの問題ではなく、与党自民党の体質の問題にもとどまらず、もつと突き詰めて考えると、世界中で国力がどんどん落ちていく原因となっている、日本政治の在り方そのものにつながる問題なのです。

それを明らかにするには、近代の日本の政治の変遷を検証しなければなりません。まず、戦後の高度成長期に遡ると、護送船団方式と呼ばれる政財官

が一体となった政権運営と日本社会の生産年齢人口の漸増を背景にして、日本は驚異の経済成長を達成しました。

その結果、ひとりあたりのGDPは1988年と2000年には世界2位にもなりました。しかし、21世紀になって世界の産業構造が変化していく中において、変化を嫌う財界、既得権を手

放したくない行政、その狭間で利権が感じられなくなり身動きが取れなくなった自民党政治は、世界経済の変化の潮流に乗ることができず、さらに人口減少（生産年齢人口の減少）という

社会構造への変化の対応に、政治がリーダーシップを取らなかつたことで、現在の日本経済は低迷してきました。すなわち、「政治と金の問題」の

根底には、既得権益によって硬直し、腐敗している日本の政治の実態があるということなのです。

投票率が低いと何が問題か

では、これまで国民は腐敗した政治を変えることができなかつたのかという疑問が生じます。一般的に、独裁国

投票率が低いと何が問題か

では、これまで国民は腐敗した政治を変えることができなかつたのかという疑問が生じます。一般的に、独裁国

家や社会主義国家では、簡単に政権を変えることはできません。その点では、日本はあてはまりません。しかし、55年体制という、自民党政治が政権を握り続けることができる政治体制そのものが、国民の手（すなわち選挙）で政治を変える機会を奪ってしまいました。つまり、政治の責任を取らなくて済む、

政権にとって都合がいい政治状況が続いていたのです。それは中選挙区制度によって支えられていました。

しかし、東西冷戦が終わって世界は変わろうとするときに、このままではいけないという政治勢力によって政治改革が行われ、失敗した政権は国民の選

択で責任を取らせることができる（政権交代が容易にできる）小選挙区制度が1994年に導入されました。この時から、国民は政治を変えることができる権利を手にしたのです。

事実、自民党は2度政権を手放しました。しかし、手練手管を使いすぐに政権を取り戻したのです。以来、自民党政権が腐心してきたことは、如何に

政権（利権）を手放さないかです。結果として、利権政治によって築いてきた支持基盤以外の人たち（無党派層）

が投票に行かなければ、すなわち、投票率が低いままであるならば、都合がよくなります。その一方で、政治が変わることはなく、ひいては国力が低下し続ける状況が続いていくことになるのです。しかし、このままでは当然い

けません。私は、投票率が上がるには、何といつても政治の信頼を取り戻すことだと強く思います。だからこそ、これからも、まっすぐな政治を貫いて参ります！

すえつぐ精一プロフィール

1962年佐世保市大宮町生まれ。

●学歴

藤原幼稚園、福石小学校、八幡小学校、清水中学校、青雲高等学校
京都大学工学部、長崎大学大学院経済学研究科経営学修士(MBA)コース



●職歴

旧・川崎製鉄(現JFEスチール)
NPO法人ハッピーワーク(就労継続支援B型事業所)理事長



●政治歴

衆議院議員小沢一郎秘書
長崎県議会議員(2期)／議会運営委員長を務める
衆議院議員(1期)／経済産業委員会、国土交通委員会に所属



●スポーツ歴

サッカー(旧・川崎製鉄 社会人サッカー部に所属、新極真空手(長崎県大会に出場))



泉代表と五島で街頭活動

2月23日・24日、泉健太代表と共に、五島市、新上五島町にて街頭活動を行いました。



長崎県は、全国第1位の離島県で県土面積の約45%を島しよが占めています。その中でも五島列島は有人国境離島法で指定を受けている地域であり、安全保障上、我が国の領海、排他的経済水域等の保全に関する活動の拠点としての機能を維持するため、地域社会の維持に関する特別の措置を講ずるよう規定されています。しかしながら、島での暮らしは交通面の不便さ、低賃金、物価高、防災への対応など様々な課題が解決されない状況が続いています。人口減少も相俟って今後は更に生活環境が厳しくなることが予想されます。

2月3日、佐世保市に創業された一般社団法人地域インバウンド振興協会が主催する観光シンポジウム「マーケットインで地域の可能性と稼ぐ力を引き出す」が開催され、私はファシリテーターとして登壇いたしました。昨年末に長崎県のIR計画不認定が決定し、経済効果への期待は大きな打撃に代わりました。そのため、佐世保市を中心とする県北地域は、観光戦略を大きく見直さなければならぬ正念場に立たされています。

観光振興シンポジウムに登壇



私は、衆議院では国土交通委員会に所属し、観光振興にも力を入れてきました。市民の立場からも、引き続き、地域の観光振興のために全力を尽くします！

空き家相談会を開催



1月27日・2月5日、佐世保市にて、「空き家相談会」を行いました。

私は、衆議院では国土交通委員会に所属し、特に住宅政策には注力して取り組み、その中でも「空き家・空き地問題」には専門的に関わってきました。その経験を活かし、地元の方々の困りごとにも少しでもお役に立ちたいという思いから、毎月、個別の無料相談会を実施しています。

皆さまのご相談は、私、末次精一が直接お話を伺い、自治体や関係事業者の皆さまと連携して、問題解決に努めます。今回お受けしたご相談内容は、空き家・空き地の相続、売買、苦情への対応、利活用など、非常に多岐にわたり、当初の定員をオーバーするご予約を頂戴するなど、改めて、多くの方が出口の見えないお悩みを抱えておられる現実を知りました。私の出来る限り、皆さまのお悩みに寄り添いたく、相談会後も現地をご一緒に確認させて頂いたり、自治体担当者のもとに出向いたり、継続して関わらせて頂いております。

今月（4月）は以下の日程で行いますので、お気軽にご参加ください。

■ 4月29日（月・祝） 13時～17時

場所…アルカス佐世保3階・小会議室

■ 4月30日（火） 18時～21時
場所…アルカス佐世保3階・小会議室
* 一組あたりのご相談時間は30分です。

* 予約制ですので、事前にお電話（095612418080）の上、ご予約ください。



NPO法人ハッピーワークのご紹介



末次精一が理事長を務める、NPO法人ハッピーワーク（就労継続支援B型事業所）のご紹介です。当事業所は、仲良く・楽しくをモットーに、創業11年目を迎えました。利用者さんお一人お一人の個性と人間関係を大切にしています。

現在、利用者さんを募集しています。障がいや体調にあわせながら、就労を通じて利用者の皆さまのハッピーな暮らしをサポートできればと思っております。お気軽にご相談ください。
電話…095617617016
住所…佐世保市城山町6-18

お手伝いをお願いいたします！

「人は石垣、人は城」これは、「風林火山」の軍旗で有名な戦国時代きつての名武将、武田信玄の言葉です。「人は、石垣や城と同じくらい、戦（いくさ）の勝敗を決するのに大切だ」という意味です。選挙も戦によく例えられますが、私の選挙は、暮らしのための政治を取り戻す、まさに既得権・利権との戦いです。そして、次の選挙、第50回衆議院選挙の任期は1年半を残し、夏には解散総選挙が行われるとの見通しもあります。私としては、次は必ず勝利して「長崎から政治を変える」第一歩を踏み出したいという強い気持ちでいます。

しかし、私の力では未熟でありますし、ひとりでは限界があります。そして、まだまだ「人」が足りていません。戦いはもう始まっています。ご支援いただく皆様には更に大変なご負担をおかけしますが、お手伝いいただける方はぜひご協力をお願いいたします。お手伝いの内容は、単純な労務、運転、電話かけ、事務所の留守番などですが、まずはすえつぐ精一事務所（電話095613713535）までご連絡ください！お待ちしております！

連絡先

【佐世保事務所】
〒857-0016
長崎県佐世保市俵町6-21
電話 0956-37-3535
FAX 0956-24-4811

